様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日　2024 年　1 月　5 日

１．職名・氏名　教授・道信　良子

２．学位　学位　博士、専門分野　人類学、小児保健、グローバルヘルス、
授与機関　お茶の水女子大学、授与年　2001

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等

学部:

病気・人間・社会(分担) (第 1 学年)

現代福祉問題論(オムニバス) (第 1 学年)

大学院:

コミュニケーション特論（第 1 学年)

健康生活科学研究科（博士後期課程)

健康生活科学特論(分担)

健康福祉学特論(分担)

保健医療福祉演習(分担)

健康生活探究特別研究

② 内容・ねらい

学部:

- 保健医療と文化とのかかわりをわかりやすく解説する。

大学院:

- コミュニケーション特論（第 1 学年)では、Public Health 領域におけるコミュニケーション理論の習得と実践への応用を目指した。
- 健康生活科学特論(分担)他、博士後期課程では、学生による理論の習得と、教員による国際水準の教育を目指した。

③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫

学部:

- 保健医療と文化とのかかわりを、事例を用いて、わかりやすく解説した。

大学院:

- コミュニケーション特論（第 1 学年)では、Public Health 領域の Creative Brief を作成するなど、実践的な学びのための工夫を行った。

- 健康生活科学特論(分担)ほか、博士後期課程の講義・演習では、学生が、国際水準の論文を執筆できるように、英語教材による教育を行った。Outcome-based education の手法を用いて、教育目標を明示し、学生が主体的に研究し、論文を執筆する体制を整えた。

- ゲストスピーカー: Dr Dikaios Sakellariou (Reader: Disability Studies and Occupational Therapy,　School of Healthcare Sciences, Cardiff University)
  健康生活科学研究科特別講義　2023.5.18

(2)その他の教育活動

内容

- 東京大学大学院、金沢大学大学院、横浜市立大学大学院、北海道医療大学大学院など、合計 6 校で、医療人類学とヘルス・エスノグラフィの講義・演習を行った。

- 岐阜大学医学部の地域医療実習におけるフォトボイスの講義を行った。

４．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

② 学術論文（査読あり）

1. 川上ちひろ，道信良子，早川佳穂，今福輪太郎，藤崎和彦，牛越博昭，西城卓也: アートベース・リサーチを応用した医学科初年次の地域体験実習の実践 医学教育 54(3): 2-9, 2023

2. *Michinobu R, Yamamoto M, Sakai Y, Mikami T, Igarashi K, Iesato K, Takebayashi A, Hori T, Tsutsumi H, Tsugawa T. Parental Decision-Making in Cancer Therapy: A Long-Term Observational Study. Clin Pediatr (Phila). 2023 Oct; 62(9):1059-1066. doi: 10.1177/00099228221150606. Epub 2023 Jan 20. PMID: 36680345.

3. *Michinobu R, Igarashi K, Iesato K, Takebayashi A, Mikami T, Sakai Y, Hori T, Tsutsumi H, Yamamoto M. Long-lasting relationships among parents and their sense of solidarity in pediatric cancer treatment for their children: A longitudinal observational study on shared decision-making. Journal of Center for Medical Education, Sapporo Medical University, in press.

【3 本】

③ その他論文（査読なし）

1. 道信 良子　エスノグラフィック・インタビュー ――健康とウェルビーイングを目指す対話的アプローチを通して　日本保健医療行動科学会雑誌（特集論文） 37(2): 27-31, 2023

2. 道信良子　ヘルス・エスノグラフィの資料収集――コロナ禍の「調査の空白」の意味　保健医療社会学論集　印刷中

【2 本】

④ 学会発表等

1. *道信良子，五十嵐敬太，山本雅樹: 小児がんの子どもの意思決定支援を目的とした長期観察研究――入院から長期フォローアップまでの研究の展開と課題 第 5 回 AYA がんの医療と支援のあり方研究会学術集会 **一般演題** 東京都品川区, 2023,5,13

2. 道信良子　子どもが小児がんを生きる――子どもの生命の視点から　第 21 回日本小児がん看護学会学術集会 **特別講演**　札幌市, 2023, 9, 29

3. 道信良子　ヘルス・エスノグラフィにおける資料蒐集――コロナ禍における調査の機会の

空白が意味すること　第 49 回日本保健医療社会学会大会 **シンポジウム講演**　東京都荒川区, 2023, 5, 27

4. 道信良子　ヘルスエスノブラフィ――ナラティブを超えて知る“人” 第 10 回日本ニューロサイエンス看護学会学術集会 **基調講演**　埼玉医科大学保健医療学部 オンライン開催(zoom) 2023, 3, 5

【4 件】

⑤その他の公表実績

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

[学外]

1. 2021 年 4 月～継続中 学童期から思春期の子どもの小児がん医療における意思形成過程の解明と支援方法の開発（研究代表者: 道信良子）科学研究費補助金基盤 C
2. 2019 年 4 月～継続中 “応援” 概念に基づく精神障害をもつ人の子育て支援アプローチの開発に関わる研究（研究代表者: 澤田いずみ）科学研究費補助金基盤 C

[学内]

3. 児童文学や劇を用いて、子どもの心に響く言葉は何かを見つける――小児医療や福祉の領域における子どもとの協働意思決定に向けて （研究代表者: 道信良子） 令和 5 年度戦略的課題研究推進支援
4. 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップにおける意思決定支援――Decision aids を活用した発展的研究 （研究代表者: 道信良子） 2023 年度 看護福祉学部研究計画書〔KF 枠研究費〕

【4 件】

(3)特許等取得

(4)学会活動等

1. 日本医学教育学会　日・韓・台合同シンポジウム　司会　2023.7.28 長崎市
2. 日本老年看護学会第 28 回学術集会優秀論文記念講演参加（共著者）2023.6.17 横浜市

５．地域・社会貢献活動

６．大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

1.　大学・大学院案内担当　(社会福祉学科) (R5.4.1～)

2.　親睦会委員　(社会福祉学科) (R5.4.1～)

(3)学内行事への参加

1.　仁愛女子高等学校　大学案内　(Zoom) 2023.8.2

2.　フィンドレー大学からの訪問者の社会福祉センター見学同行　2023.6.6

3.　健康生活科学研究科開設記念公開講演会　シンポジスト 2023.5.31

(4)その他、自発的活動など

1.　学部内公開研究会　2023.3.14